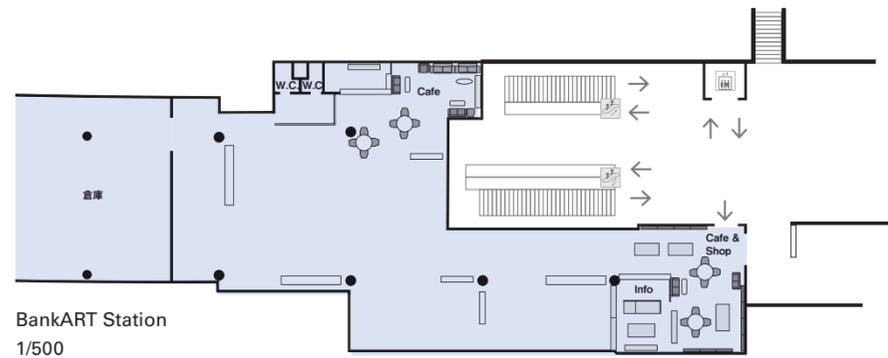
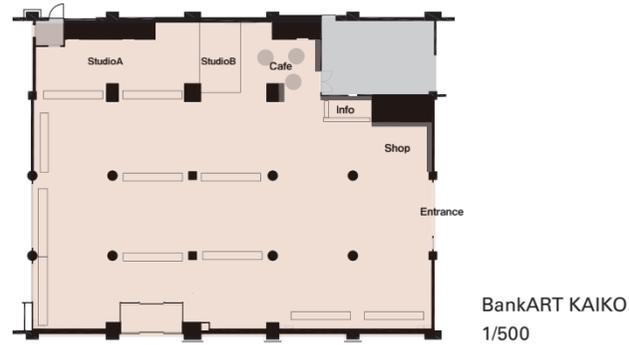


BankART KAIKO

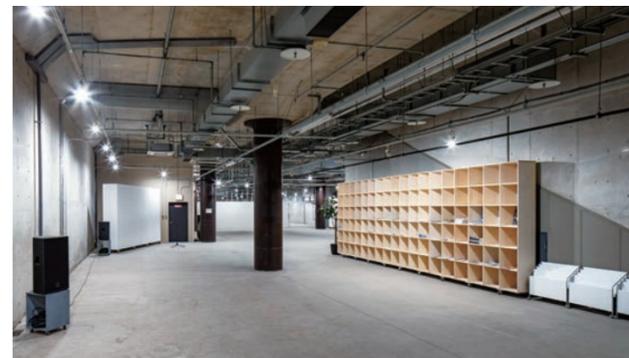
大正時代、全国の絹が集まり、日本近代の礎を築いた帝蚕倉庫が広がっていたゾーン。現在、超高層マンション、ホテル、店舗などを中心とした複合施設として生まれ変わろうとしている。BankART KAIKOは、その1926年生まれの帝蚕倉庫の一棟を復元した建物の1Fに位置する。立地に恵まれた620平米の空間を活かしながら、オルタナティブな活動を展開していく。

BankART Station

みなとみらい線新高島駅構内地下1Fの、展示室と倉庫からなる約1,500平米のスペース。地上階との連結のために用意されていた空間が諸事情の理由で使用されなくなったのを機に、横浜高速鉄道から大きな空間を提供していただいた。周辺地区は建築的なラッシュで数十社に及ぶ国内外の一流企業が大規模なビルを建築中だ。既存の日産や富士フィルムに加えて、新築の資生堂やびあアリーナMM、ソニー等、市民に開かれた空間を擁する新しい都市が生まれつつある。みなとみらいのBankART1929の中核的な施設として、展覧会、ショップ、スクール等、オルタナティブな運用を目指す。



BankART KAIKO



BankART Station



BankART 1929 office
TEL:045-663-2812
info@bankart1929.com www.bankart1929.com

BankART Station
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい5-1新高島駅B1F

BankART KAIKO
〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57-2-KITANAKA BRICK&WHITE 1F



BankART KAIKO

BankART 1929

BankART Station

BankART1929

BankART1929は、横浜市が推進する、歴史的建造物、倉庫などを文化芸術に活用しながら、街を再生していく「創造都市構想」のリーディングプロジェクト。2004年3月、馬車道にあった元銀行(旧第一銀行、旧富士銀行)を活用してスタート。その後2005年、旧富士銀行への東京藝大誘致に伴い、旧日本郵船倉庫を改修したBankART Studio NYKに移転。2008年、本格的な改修を経て、それ以降、NYKを中心に数多くの活動が続けてきた。街なかへの展開として、新港埠頭の倉庫や本町、北仲地区の再開発予定のビルを活用して、大型のシェアスタジオの構築・運営を図り、横浜に数多くのクリエイターの誘致を行ってきた。2018年、中核施設だったBankART Studio NYKの建物が解体されたのを機に、みなとみらい地区、馬車道地区に分散し、4つの施設の連携を図りながら運営を行ってきた。2021年度からは4年間、馬車道地区(旧市街地)のBankART KAIKOと新高島地区(みなとみらい21地区)のBankART Stationを拠点に都市の中のプロジェクトを推進継続していく予定である。



BankART Station



BankART KAIKO



BankART 妻有
新潟県十日町市桐山86



BankART1929 Yokohama
2004.3.6 ~ 2009.3.31
BankART Temporary
2020.4.1 ~ 2021.3.31

R16 studio
2018.8 ~ 2021.3

BankART Home
2018.5 ~ 2020.11

BankART SILK
2019.2 ~ 2020.8

BankART Studio NYK
2005.1.15 ~ 2018.3.31

BankART1929 馬車道
2004.3.6 ~ 2004.12.31

ハンマーヘッドスタジオ「新・港区」
Open 2012.4 → Close 2014.4

BankART 桜丘
Open 2006.6.30
→ Close 2010.3.31

BankART かもめ荘
Open 2008.5.7
→ 2012.4

北仲 BRICK & 北仲 WHITE
2005.6 → 2006.10

その他の
サテライトスペース
本町実験ギャラリー
2008.5.7 ~ 2010.9
BankART 金庫室
2006.11.18 ~ 2010.9
びおシティ B2 ギャラリー
2008.5.7 ~ 2008.11.30

主催事業

横浜の持っている財産をコンテンポラリーにリレーすること。歴史的建造物や街づくり・食・衣・写真・ダンス(舞踏)等、これら既存のポテンシャルをどのように引き出すかをテーマに展開してきている。食と現代美術やランドマークプロジェクトのような街中に展開する展覧会、大野一雄フェスティバルに代表されるパフォーマンスアーツのイベント、Cafe Live、Under35に代表されるような新人に対するサポート、大規模な個展(原口典之/朝倉操/川俣正/田中信太郎/岡崎乾二郎/中原浩大/柳幸典)の他、国際展、横浜トリエンナーレと連携するBankART Lifeのような総合的なイベントを開催してきている。



BankART Life

食と現代美術 part6

地震 EXPO

BankART Life III「新・港村」

原口典之「社会と物質」

田中信太郎、岡崎乾二郎、中原浩大「かたちの発語」

柳幸典「ワンダリング・ポジション」

川俣正「都市への挿入」

コーディネート事業

大学の卒業展など、可能な限り、外部からのオファーを受けられている。BankARTがサポート、協働することで、単なるレンタル事業ではなく、イベントそのものが向上するように心がけている。



Ku Na'uka theatre company

GLOBAL PLAYERS

TPAM in Yokohama

藤本隆行 Time Lapse Plant 展

横浜国際映像祭

Essential Ongoing 静寂と狂気

光の都市光州

広松木工株式会社

ニポール

Cafe / Shop & Contents

美術・建築・パフォーマンス等の芸術系の書籍、DVD、グッズ、作品等を扱う。スクール講師、企画展作家等のコンテンツを中心に3,500アイテムを数える。また全国のギャラリーや美術館、小ロットの印刷物も取り扱っている。BankART出版は約140種類の書籍などを発行してきている。



柳幸典「ワンダリング・ポジション」A4変形判 2冊セット 352p

岡崎乾二郎 A4変形判240p

中原浩大 A4変形判192p

田中信太郎 A4変形判 192p

川俣正「Expand BankART」A4変形判 3冊セット 計352p

原口典之「社会と物質」A4変形判 256p

渡辺 篤「アイムヒア」B5判80p

遠藤章子「肌理とアモルファス」A5判80p

宮本隆司「首くくり惨劇」B5判108p

「いかに戦争は描かれたか」編：村田 真 A5判224p

開発好明「100人先生」A5判

BankART1929 B5判184p

中原佑介美術批評 選集 B5変形判 236p

BankART school

2ヶ月で8回の講座が基本単位。18人までの少人数制で月～土曜まで開催。生涯学習講座と大学院の授業の中間レベル、現代の寺子屋を目指す。これまでに315講座、1,090名の講師陣(ゲスト含む)、5,050名を超える学生が受講。学生同士、講師と学生との交流が活発で、受講終了後も有志で行なう活動も多く、『HAMArt!』など、講座から誕生したフリーペーパー等もある。



受講生募集チラシ スクールの様子

Artist in Residence

年間レジデントアーティストが常に数チーム活動。その他、台湾、韓国、海外との交換レジデンスプログラムも活発に行っている。年に2ヶ月程度、展示スペースを制作場所として開放し、数十チームのアーティストが活用できる短期のAIRプログラムも開催している。週末のアーティストトーク、オープンスタジオも随時行っている。



Networks

BankART関係で生まれた集合アトリエや黄金町エリアマネジメント関連のスタジオ、あるいは自主的に立ち上がったスペース等々、この間、数多くの施設やアトリエが関内外地区に集積してきており、現在では1,000人を超えるクリエイターが活発に活動している。今後も、彼らとのネットワークを大切に、さらに街中への展開をはかりたい。また既存の文化施設との協働や横浜市郊外地区との関係、他都市とのプログラム、台北や続・朝鮮通信使のプロジェクト等、多層なレベルでネットワークの構築を展開していきたい。



黄金町エリアマネジメントセンター

象の鼻テラス

急な坂スタジオ

宇徳ビルヨソカイ
2010.10 ~ 2017.9

本町ビル45 (シゴカイ)
2006.11 ~ 2010.9

集まれアトリエニシアティブ

出張バンカート
スクール

開港5都市モガモガ
を探せ!

続・朝鮮通信使